



学校だより

南の風

第 23 号

平成30年12月21日

大洗町立南中学校

さまざまな教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。本日、第2学期終業式を迎えました。

平成30年度第2学期終業式

(式辞の全文を紹介します)

本日ここに、112日あった2学期の最終日を迎えました。

まずは、一人一人が健康や安全に注意して生活し、こうしてみなさんで終業式を迎えられたことに感謝します。

ただいまは、代表して3名の生徒から2学期の反省について発表がありました。

3年生の松沢敬光さんからは、進路に真剣に向き合い、目標とする高校に合格するため、学習の計画をしっかりと立てて取り組んだという話がありました。そして、行事で学んだ、みんなが一つなれば、高いハードルを越えることができるという経験を生かし、受験に向けて学年全員で団結してがんばっていくという力強い言葉で締めくくられていました。3年生全員の思いが伝わってくる発表でした。

2年生の吉澤海斗さんからは、飛翔祭のクラス合唱の指揮者として、自分を支えてくれた仲間と練習を重ねた自分自身を信じ、緊張を乗り越えた経験についての話がありました。学習においては復習することの大切さを知り、得意なことを伸ばし、苦手なことも克服していきたいという意気込みを感じました。さらには、立志文集の制作にあたって、2年生全員が将来の夢や生き方について考え始まったという言葉に、これから南中を支えていく学年としての期待を感じました。

1年生の大谷明輝さんからは、中学校での行事を通して、時間の大切さに気付くとともに、大変だったからこそ達成感を味わうことができたという話がありました。また、難しくなってきた学習に対して自主学習の内容や進め方を見直して、予習・授業・復習といった学習サイクルを大切にしたいという話もありました。さらに素晴らしいことは、常に学級目標に立ち返り、みんなの力でがんばっていくという、まさに、自主・自立を目指す南中の姿を1年生が示してくれました。

そして、今日も代表生徒の発表を真剣に聞いていたみなさん、素晴らしい態度でした。

松沢さん、吉澤さん、大谷さん、発表ありがとうございました。

さて、私が二学期始業式でみなさんに話をした内容を覚えていますか。話の最後に「一学期以上の笑顔と感動を共に創っていきましょう。」と言いました。

そこで、二学期のみなさんの姿を映像で振り返ってみたいと思います。

(スライド上映) ※写真の一部を掲載します



今学期も、みなさんから、たくさんの笑顔と感動をいただきました。

そして、何より、みなさんの本当のすばらしさを授業の中で発見することができました。真剣な表情で課題に向かう姿、友だちと考えながら追究している姿、何かに気付いた瞬間の輝きのある表情。この姿こそがどの中学校でも追い求めている「学びに向かう中学生の姿」だと感じました。日本中の学校が目指す生徒の姿が、この南中にはあります。まさに日本一の学校であり、みなさんを誇りに思います。

三学期の始業式には、新年を迎え、誰もが希望に満ちた明るい笑顔で登校してくることを楽しみにしています。